

校長室だより

11月

京都市立音羽小学校
校長 藤村 徹

学校教育目標

ひとりひとりが みんなと共に 個性豊かに たくましく生きる子どもの育成

目指す子ども像

- ① 自他を大切にすること
- ② 自分の可能性にチャレンジすること
- ③ 自ら学ぶこと

修学旅行(自然教室3泊4日)から帰ってきました。

福井県六呂師高原では、経ヶ岳登山、牧場体験、岩魚つかみ等を体験しました。登山ではそれぞれの目標とする地点まで、仲間と励ましあいながら登りました。今までに経験したことのない苦しさだったかもしれませんが、見事に登りきりました。杓子岳や中岳、経ヶ岳から見る自然の景色は最高でした。牧場では、子牛に舐められながらえさやりをしました。牛舎のにおいに最初はとまどっていたのですが、子牛を見たとたん、そんなにおいを忘れたかのように子牛をかわいがっていました。岩魚つかみでは、つかんだ岩魚のおなかを包丁で切って、内臓を取り出してきれいに洗ってから塩をふって炭火で焼きました。

命の尊さを学びました。食べた岩魚は、私たちの命となって生き続けるのです。魚の苦手な子どもも頭から骨、尻尾まで感謝してすべて食べつくしました。

3泊4日の宿泊の中で、子どもたちは多くのことを学んでくれました。この経験をこれからの学校生活に生かしてくれることを期待しています。



風力発電と太陽光発電ができました

正面玄関プール横に風力発電を設置しました。発電できる風速は2m/秒からです。更衣室の上に太陽光のパネルを4枚設置し、この2つの発電機で体育館東側にある流水池のろ過装置を動かします。また、第四校舎(学童クラブ分室)前に太陽光発電によるライトをつけました。(日没から4時間点灯)

地球温暖化を防ぐための新エネルギーを学ぶのに利用したり、省エネ学習に活用したりと考えています。

子どもたちが大人になったときの地球はやはりすばらしい環境であってほしいものです。しかし、このまま私たち大人が何もせず、エネルギーの無駄使いをし続けるとますます温暖化が進み、海水の上昇や異常気象が起こりとりかえしのつかないことになってしまいます。今、私たち大人が子どもと一緒にエネルギーの無駄使いをなくし、子どもたちに未来をたくしたいと思います。

